

## 未来の子どもたち

—市制10周年記念・小田原こども文化博覧会—

～図書館所蔵写真から～

小田原市は、太平洋戦争突入の前年、昭和15年(1940)12月20日に小田原町・足柄町・大窪村・早川村・酒匂村の一部(山王原・網一色)が合併して誕生した。敗戦からの復興のきざしが感じられるようになった同25年(1950)、市制10周年を迎える。同年には小田原市観光協会・同文化協会・同商店街連盟が結成され、失業対策として小田原城石垣復旧石積整地工事がはじまり、中央公民館・小田原漁港の建設や桜井村との合併話が進むなか、10月1日からメインの記念事業として小田原こども文化博覧会が小田原城址公園を会場に開催された。関東地方での戦後最初の博覧会でもある。

こども文化博は、最新の科学技術を見聞きすることで、小田原市内はもちろんのこと近隣の少年少女たちに平和日本の将来へ夢と希望を抱いてもらうとともに、知性と情操の増進のため、こどもたちに健全な娯楽を与えることを目的とした。またこの催しには、遠足や修学旅行で来場した児童・生徒たちはもとより、こどもたちと一緒に訪れる人びとに小田原・箱根地方の観光や産業を広く紹介する役割があった。

関東大震災で石垣が崩れたままになっていた小田原城本丸跡を整備し、「産業館」「観光館」「文化館」「ゆうびん・でんしんでんわ館」「アメリカ学童館」などの展示館や野外劇場のほか、「こども遊園地」「こども世界探検場」、そして動物園が設けられた。動物園の主役は仔象の「梅子」、本丸会場に象の家が作られ愛嬌を振りまいた。野外

劇場で連日多彩な催しものがあり、期間中、県内児童・生徒の遠足や近隣都県からの修学旅行など、団体での来場も約300校あった。当初11月20日までの予定であった会期は12月3日まで延期され、64日間での有料入場者総数は18万5,998人。かかった総事業費は1,800万円を超え、黒字とはならなかったが、こども遊園地と動物園はこども博終了後も営業が継続され、こどもたちの憩いの場となって現在まで存続する。引き続いて小田原市は、国指定史跡小田原城跡の本丸に、観光の目玉として天守閣の再建を目指すこととなる。



こども遊園地の豆汽車と飛行塔



象の梅子と日本ターザン

## 山下清の絵葉書 ～収蔵資料「せいあそう青蛙荘文庫」の紹介～

昭和9年(1934)に当時の小田原町図書館に奉職後、昭和21年から同44年(1969)の退職まで小田原市立図書館長を勤めた石井富之助とみのすけ氏は、小田原の昭和を代表する文化人の1人である。著書『小田原と文学』(小田原文芸愛好会、1990年)のまえがきの一節に、「図書館にはレファレンス・サービスという仕事がある。図書館ではこれを『図書館に寄せられた質問、相談に接し、図書館の資料または機能を活用してこれにこたえること』と定義している。一般の質問、相談は無限大といってもよい、……せめて小田原のことについては小田原の図書館が、引き受けなければならないとわたしは思った。」とある。彼の図書館での職務は、ライブラリアン(図書館司書)としてだけでなく、このように最初からアーキビスト(記録史料の収集整理・保存管理・公開を担当する専門職)でもあった。



青蛙荘文庫 No.L14-42「山下清書簡他一括」より

それは石井氏のおもな業績(著作)をみただけでも判明する。まず図書館に関しては、『私論・市立図書館の経営』(神奈川県図書館協会、1971年)、『図書館一代』(小田原市立図書館、1987年)があげられる。片岡文書・小田原有信会文庫・山県公文庫など、小田原市立図書館が寄贈を受けた文献や古文書類、貴重資料が特別集書として公開されるに際して、その解説目録は石井氏みずからが執筆担当した。また、小田原地域の文化・歴史史料の掘り起こしにも尽力し、『貞享三年御引渡記録集成』(神奈川叢書1)・『相中そうちゅうざつ襍志』(同4・5)、『皇国地誌』(横浜史料1)などの刊行にも携わっている。

そのため、小田原在住の政治家・文化人たちから頼りにされ、遠くの作家たちからの問い合わせも絶えなかった。小田原城天守閣再興前後、何度か小田原を訪れた画家山下清を案内したのも石井氏であった。また、日ごろから郷土資料を収集し、見聞きした小田原地方の文化史・郷土史を書きとめ、数多く発表してきた。今となっては聞くことのできない情報の宝庫でもある。

それら石井氏の収集した資料・原稿は青蛙荘文庫として図書館の特別集書となっている。図書館・郷土史に関しては、明治～昭和初期の貴重な雑誌や残りにくいパンフレット類が豊富に含まれており、コピーの無い時代に手がけた資料・古文書の写本きりざも多い。桐座および桐座復興に関する資料もまとまっている。石井氏宛ての書簡は職務上の礼状が多いが、その交際範囲はじつに広い。



左から山下清・石井富之助

### 【小田原市立図書館地域資料室 利用案内】

小田原市立図書館(星崎記念館)2階。

休館日は毎月第4月曜(館内整理日)、年末年始、特別整理期間。

資料の出納・ご相談は9時～12時、13時～16時45分に承ります。

室内の資料は原則貸し出しいたしません。

\*貴重資料の閲覧：事前の閲覧申請・ご予約をお願いいたします。

### 【編集後記】

地域資料室にて、写真展示「未来の子どもたちー市制10周年記念・小田原こども文化博覧会ー」を始めました。お越しの際には、ぜひご覧ください。